

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名 ぱすてるHouse

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|----|-----|---------------------------|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | 1 | 人数の多い日は、部屋を分ける等、工夫をしています。 | 法定人員を守り適切なスペースを確保しております。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | 1 | | 国の人員基準を満たしております。また言語聴覚士、作業療法士、保育士、児童指導員等専門性を備えた職員を配置しております。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 4 | 2 | | 一軒家を借りバリアフリー化はしております。物品の配置等を工夫し十分なスペースを確保し子供たちが安全、快適に過ごせるよう環境調整を実施しております。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 4 | 2 | | 活動スペースはフラットで段差のない空間です。また支援終了後には清掃を実施し清潔な環境が保てるよう努めています。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 3 | 3 | | PDCAサイクルは使用しておらず、月一回のミーティングで業務の見直しを行っています。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 4 | 2 | | 今年が初めての自己評価アンケート実施となります。結果を参考にし業務改善に努めます。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 3 | 3 | | 評価表の結果はぱすてるグループのホームページで公開いたします。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 1 | 5 | | 現在は実施しておりませんが、今後必要に応じて導入を検討していきます。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 3 | 3 | | 職員の質の向上を目指し、研修会への積極的な参加に努めます。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 6 | | | 面談や見学、体験を通してアセスメントをとり、課題をしっかりと分析したうえで計画を作成しております。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 1 | 5 | | 標準化されたアセスメントツールは使用できておりません。今後バランサー等のツールを積極的に取り入れていくよう努めます。 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 4 | 2 | | 課題内容や指導方法についてミーティングで話し合い、職員間に対応の仕方や支援目標を統一するようしております。日々のプログラムは、様々な職員が参画し、児童の特性や目標に合わせてその都度修正しながら行っています。 |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 4 | 2 | | 職員間で情報共有し、モニタリング後はミーティングで課題の確認を行い、個別支援計画に沿った支援を心掛けています。 |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | | 職員間で話し合いプログラムづくりを実施しています。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | | 平日、休日、児童の特性等を考慮し、課題や難易度の設定、プログラムの変更を行っています。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 6 | | | 児童の特性、ニーズに応じて計画をたて、個別活動(言語聴覚士による言語、認知訓練)、集団活動(SSTや認知機能向上の要素を取り入れる)を日々実施しております。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------------------|--|---|----|-----|--|--|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | | | 職員間で打ち合わせを行い、その日の配置や役割を確認しております。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 1 | | 終礼時間を利用し、その日の振り返りや気づきを共有しております。今後は定期的に業務改善ミーティングや個別支援検討会を実施し、課題を改善できるよう努めます。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | | | 一人一人の記録を毎日実施し支援の検証や改善に繋げています。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 6 | | | 定期的にモニタリングを実施しており、必要性に応じて計画の見直しを行っております。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | | 担当者会議には児童発達管理責任者が参加しております。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 6 | | | 学校お迎え時に先生と、児童の情報共有や連絡調整を実施しております。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 5 | 1 | | 医療連携で看護師による訪問看護を実施しております。重度で密な医療連携が必要な場合は主治医との連絡体制の調整を行っていきます。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 5 | 1 | | 必要に応じて連携体制の調整を実施していきます。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 4 | 2 | | 送迎時に現在通っている保育所や園とは生活の様子や支援内容を確認し、情報共有を心掛けています。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 1 | 5 | | 小学生に進学する児童は、今年が初めてとなります。必要に応じて情報共有を行っていきます。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | 2 | | 研修の案内があった際には積極的に参加させていただきます。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 2 | 4 | | 現状行えていませんが、今後は積極的に地域の社会資源との連携強化に努めます。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 1 | 5 | | 現状参加はできておりませんが、今後は積極的に参加できるよう努めます。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 4 | 2 | | 送迎時に保護者様には活動での様子や、できたこと、難しかったこと等を伝えていきます。また、ご家庭での様子を伺うようにしております。 |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 2 | 4 | | 現在行えておりませんが、必要な研修に参加し、積極的に保護者と情報共有を行い包括的な支援が行えるよう努めます。 | |
| 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | 1 | | 新規契約の際に説明を実施しております。 | |
| 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 6 | | | ガイドラインに則した個別支援内容を個別支援計画に表記しております。今後は保護者様にご理解頂けるよう丁寧な説明を心がけて参ります。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|------------------------|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | 1 | | 保護者から相談を受けた際には職員間で検討し、適切な助言が出来るよう取り組んでいきます。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 2 | 4 | | 新型コロナの影響もあり保護者会は行えていませんが、状況が落ち着きましたら保護者会を実施し、職員と保護者、また保護者同士の繋がりを支援していけるよう努めます。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | 2 | | 相談があった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めます。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 3 | 3 | | 会報は発行できていない状況です。今後はメールによる発信やホームページを利用する等、方法を検討していきたいと考えています。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 6 | | | 個人情報の取扱いには十分に注意していきます。 |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | | 児童や保護者に対して、個々に合った方法で意思疎通や情報伝達が行えるよう努めています。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 2 | 4 | | 現在は行えておりませんが、必要に応じて対応していきます。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 5 | 1 | | マニュアルは策定しております。今後も職員間での情報共有を実施し、保護者様への周知に努めます。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | | 定期的に避難訓練を実施しております。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 4 | 2 | 訪問看護からケアのアドバイスをもらっている。 | 医療的支援が必要なお子様は事前に確認を行い職員間で情報を共有し支援しております。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | 2 | | 契約時に保護者様から確認を行っております。必要に応じて医師の指示に基づいて対応を行います。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | | アクシデント・ヒヤリハット報告書の作成 | 危険な事例が合った場合には職員間でミーティングを行い、改善策を検討し記録に残しております。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 3 | 3 | | 必要な研修に参加し、虐待防止や権利擁護の知識を深め、適切に対応できるよう努めます。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | | | 6 | 現在該当者はいません。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。